

厚生保険特別会計年金勘定 平成18年度特別会計財務書類の概要

貸借対照表

(単位:十億円)

	前年度	18年度	増減		前年度	18年度	増減
< 資産の部 >				< 負債の部 >			
現金・預金	54,609	39,262	△15,346	未払金等	5,502	5,596	93
運用寄託金	77,770	90,824	13,054	公的年金預り金	137,493	135,176	△2,317
未収金等	7,097	7,098	1				
貸倒引当金	△211	△198	12				
有形固定資産	180	157	△23	負債合計	142,996	140,772	△2,223
うち国有財産 (公共用財産を除く)	175	153	△22	< 資産・負債差額の部 >			
出資金	3,731	3,785	54	資産・負債差額	180	157	△23
資産合計	143,176	140,929	△2,246	負債及び資産・負債差額合計	143,176	140,929	△2,246

業務費用計算書

(単位:十億円)

	前年度	18年度	増減
厚生年金保険給付費	22,071	22,273	202
国民年金特別会計基礎年金勘定への繰入	11,392	11,997	605
業務勘定への繰入	1,184	121	△1,062
補助金等	93	95	1
出資金評価損	2	11	9
その他	38	34	△4
本年度業務費用合計	34,781	34,534	△247

資産・負債差額増減計算書

(単位:十億円)

	前年度	18年度	増減
前年度末資産・負債差額	628	180	△447
本年度業務費用合計(A)	△34,781	△34,534	247
財源(B)	32,489	31,706	△782
公的年金預り金の変動に伴う増減	2,135	2,317	181
その他	△290	487	778
本年度末資産・負債差額	180	157	△23

区分別収支計算書

(単位:十億円)

	前年度	18年度	増減
業務収支	967	1,102	134
財務収支	-	-	-
本年度収支	967	1,102	134
(業務収支+財務収支)			
資金への繰入等	△967	△1,102	△134
資金残高等	54,609	39,262	△15,346
本年度末現金・預金残高	54,609	39,262	△15,346

厚生保険特別会計年金勘定の業務等の概要

1. 設置目的、業務内容

この勘定は、厚生年金保険事業(厚生年金基金及び厚生年金基金連合会が行う事業を除く。)の保険収支(業務勘定に係るものを除く。)を経理するもので、事業主等から徴収する保険料、運用収入及び国庫負担金を主な財源として、保険給付等を行っている。

なお、年金勘定の積立金については、従来は全額を資金運用部に預託していたが、平成13年度より年金資金運用基金に寄託しての運用が開始された。

2. 歳入歳出決算概要

歳入額 35 兆円に対し、歳出額 34 兆円であり、差引き1兆円の剰余が生じた。この剰余金は積立金に組み入れた。

3. 積立金の残高

128.9 兆円

主な科目の内容

1. 貸借対照表

- ・現金・預金…主に財政融資資金預託金(寄託による減13兆円)
- ・運用寄託金…年金積立金管理運用独立行政法人への寄託金(寄託の増13兆円)
- ・公的年金預り金…将来の年金給付財源に充てるために保有している資産の合計額から、未払金等を控除した額(2兆円の減)

2. 業務費用計算書

- ・国民年金特別会計基礎年金勘定への繰入…基礎年金給付費への充当額の増6,051億円
- ・業務勘定への繰入…福祉施設経費財源繰入額の減1兆622億円

3. 資産・負債差額増減計算書

本年度業務費用合計と財源合計との差額(財源不足)
△2兆8278億円